

平成22年度 全国学力・学習状況調査 調査結果の概要 <算数・数学>

小学校		中学校					
	課題	授業改善の視点					
算数 A 知識	<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四則混合の計算についての理解 ・分数の意味について理解 ・百分率を求める力 ・資料を正確に読み取る力 	<p>○計算の順序についてきまりを理解し、計算する力</p> <p>○表された図や表から、分数の意味を理解する力</p> <p>○割合の意味を理解し、百分率を求める力</p> <p>○資料が表している内容を正確に読み取る力</p>	<p>○式のどの部分から計算するかによって、計算結果が違ってくことについて児童自身が説明できるようにさせる。</p> <p>○等分で表されていることに気付かせる活動を取り入れ、分数で表すことができることに気付かせる。</p> <p>○何が比較量で、何が基準量であるのかをとらえさせるために、数量の関係をテープ図に書かせたり、文で表現させたりする。</p> <p>○グラフの一部だけをとらえさせるのではなく、グラフの特徴や傾向について着目させ、発表し合う場を取り入れる。</p>	数学 A 知識	<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方程式の意味を理解し、それを用いることのできる力 ・平面図形についての理解 ・一次関数についての理解 	<p>○連立二元一次方程式とその解を理解し、計算を解くことができるとともに、利用することができる力</p> <p>○線対称、点対称についての理解を図り、対象性に着目して平面図形に対して直感的に図形みる力</p> <p>○一次関数の値の変化の割合とグラフの特徴を読み取るとともに、一次関数を利用できる力</p>	<p>○代入法や加減法を用いることによって、一つの文字が消えることに気付かせ、その上で、一元一次方程式に帰着して解くことができることを説明する。最後に解を元の式に入れ、計算を確かめさせる活動を取り入れる。</p> <p>○紙でできた図形を折って重ね、線対称について理解を深める活動を取り入れる。さらに、折られてできた2つの図形の関係を気付かせるために、できた図形について話し合う活動を取り入れる。</p> <p>○関数の関係を式に表してから、数値を代入し、自分のとらえた関係と式が一致するかを確かめさせる活動を取り入れる。</p>
	算数 B 活用	<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算の順序についての決まりをもとに式を修正する力 ・事象から見いだした図形を判断する力 	<p>○計算についてのきまりを理解し、出された式を()を使って、正しい式に修正する力</p> <p>○与えられた条件、図形の定義、事象から見いだした条件などから、根拠を明確にして、その図形を判断する力</p>		<p>○問題場面を正しく理解させる話し合い活動などを取り入れ、その上で、四則を混合ができることや、()を用いた一つの式(総合式)になることに気付かせる。</p> <p>○身の回りの事象から図形を見いだす活動を取り入れ、その根拠についての説明を発表させたり、理由を書かせたりする活動を取り入れる。</p>	数学 B 活用	<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事柄が成り立つ理由を説明する力 ・証明の意義と方法を説明する力 ・グラフの特徴を説明できる力

※ 本調査は、平成22年4月21日 小学校第6学年、中学校第3学年において実施したもの。

※ Aは「知識」について、Bは「活用」についての調査内容を表す。